



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月10日

上場会社名 株式会社丸八ホールディングス 上場取引所 名  
 コード番号 3504 URL <https://www.maruhachi.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日野原 和夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理グループ長 (氏名) 工藤 知足 (TEL) 045-471-0808  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	5,811	△4.1	709	△20.4	2,268	88.4	1,293	70.7
2022年3月期第2四半期	6,056	△4.5	891	△0.6	1,203	33.0	757	34.4

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 2,602百万円(137.3%) 2022年3月期第2四半期 1,096百万円(171.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	83.45	—
2022年3月期第2四半期	48.90	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	64,784	49,531	76.5
2022年3月期	61,409	47,394	77.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 49,531百万円 2022年3月期 47,394百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,892	△3.5	1,472	△12.8	3,160	5.6	2,639	67.5	170.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 ー 社(社名) 、除外 ー 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	16,579,060株	2022年3月期	16,579,060株
2023年3月期2Q	1,081,540株	2022年3月期	1,081,540株
2023年3月期2Q	15,497,520株	2022年3月期2Q	15,497,520株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュフロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内閣府の月例経済報告によりますと、「景気は、緩やかに持ち直している。」とされており、先行きについては、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待されます。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっております。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

## (寝具・リビング用品事業)

当第2四半期連結累計期間の状況といたしましては、前年同四半期と比べ減収・減益となりました。

減収・減益の主な要因は、主力のダイレクトセールス部門におきまして、販売員増員を課題として認識しておりますが、継続的な採用活動に努めるも奏功せず前年同四半期と比べ減員となったためであります。ダイレクトセールス以外の販売部門におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による需要の落ち込みから回復の兆しが見られ、前年同四半期と比べ増収・増益で推移しております。

## (不動産賃貸事業)

当第2四半期連結累計期間の状況といたしましては、前年同四半期と比べ増収・減益となりました。

増収の主な要因は、前年下半期に取得した区分マンションの賃貸収入によるものであります。減益の主な要因は、修繕等の設備関係費が前年同四半期を上回ったことによるものであります。

以上の結果、売上高は5,811,226千円と前年同四半期と比べ245,642千円(4.1%)の減収となりました。営業利益は709,834千円と前年同四半期と比べ181,929千円(20.4%)の減益となりました。経常利益は為替差益を1,267,104千円計上したこと等により、前年同四半期と比べ1,064,482千円(88.4%)増益の2,268,248千円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は旧浜松工場等に係る解体費用引当金繰入額の計上等がありましたが、経常利益の増加により1,293,194千円となり、前年同四半期と比べ535,410千円(70.7%)の増益となりました。

セグメント毎の状況は以下のとおりであります。

## ① 寝具・リビング用品事業

当セグメントにおきましては、売上高は5,297,375千円と前年同四半期と比べ251,967千円(4.5%)の減収、セグメント利益(営業利益)は796,970千円と前年同四半期と比べ131,494千円(14.2%)の減益となりました。

## ② 不動産賃貸事業

当セグメントにおきましては、売上高は513,851千円と前年同四半期と比べ6,325千円(1.2%)の増収、セグメント利益(営業利益)は190,112千円と前年同四半期と比べ47,705千円(20.1%)の減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して3,375,065千円増加し、64,784,439千円となりました。これは主に、金融機関からの借入500,000千円や親会社株主に帰属する四半期純利益1,293,194千円の計上等によるものであります。なお、現金及び預金が5,139,023千円減少しているのは、資産運用の一環で、満期となった外貨建て定期預金をその他の外貨建て金融資産へ組替えたこと等によるものであり、その結果、投資有価証券が7,584,151千円増加しております。

負債は、前連結会計年度末と比較して1,237,655千円増加し、15,252,630千円となりました。これは主に、金融機関からの借入により長期借入金が500,000千円増加したこと、その他有価証券評価差額金の計上に伴い繰延税金負債が297,923千円増加したこと、及び解体費用引当金が312,893千円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して2,137,409千円増加し、49,531,809千円となりました。これは主に、海外子会社財務諸表の円換算レートの変動により為替換算調整勘定が738,539千円増加したこと、及び配当金の支払いを上回る親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことにより利益剰余金が828,268千円増加したことによるものであります。

### ②キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の残高は、前連結会計年度末に比べ277,361千円増加し、18,316,569千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローとその主な要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は325,574千円（前第2四半期連結累計期間は1,021,813千円の獲得）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益1,969,362千円、及び売上債権の減少354,997千円によるものであります。一方で、為替差益1,263,374千円、法人税等の支払額645,470千円などがありました。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は207,398千円（前第2四半期連結累計期間は6,499,276千円の使用）となりました。

これは主に、投資有価証券の取得による支出7,013,779千円、及び有形固定資産の取得による支出419,515千円によるものであります。一方で、定期預金の純減額7,149,232千円などがありました。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により獲得した資金は35,074千円（前第2四半期連結累計期間は464,997千円の使用）となりました。

これは主に、長期借入れによる収入500,000千円によるものであります。一方で、配当金の支払額464,925千円がありました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月12日に公表いたしました2023年3月期の連結業績予想数値を修正しております。詳細につきましては、本日（2022年11月10日）公表の「第2四半期連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	32,922,872	27,783,849
受取手形、売掛金及び契約資産	4,073,108	3,718,110
有価証券	—	429,977
棚卸資産	1,173,206	1,802,598
その他	366,371	477,288
貸倒引当金	△75,707	△81,665
流動資産合計	38,459,851	34,130,158
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,574,103	19,498,202
減価償却累計額	△14,830,709	△14,888,195
建物及び構築物（純額）	4,743,393	4,610,006
機械装置及び運搬具	2,668,104	2,649,149
減価償却累計額	△2,445,215	△2,459,491
機械装置及び運搬具（純額）	222,889	189,657
工具、器具及び備品	613,786	599,207
減価償却累計額	△479,639	△464,811
工具、器具及び備品（純額）	134,146	134,395
土地	12,479,049	12,479,049
建設仮勘定	263,845	576,904
有形固定資産合計	17,843,324	17,990,013
無形固定資産	17,553	15,853
投資その他の資産		
投資有価証券	4,614,337	12,198,489
繰延税金資産	259,806	256,384
その他	258,732	235,254
貸倒引当金	△44,231	△41,714
投資その他の資産合計	5,088,645	12,648,413
固定資産合計	22,949,522	30,654,281
資産合計	61,409,373	64,784,439

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	264,536	512,053
1年内返済予定の長期借入金	5,000,000	5,000,000
未払金	565,901	503,663
未払法人税等	577,612	586,654
賞与引当金	166,158	176,671
解体費用引当金	—	312,893
修繕引当金	—	117,700
割賦利益繰延	703,409	593,872
その他	812,780	710,372
流動負債合計	8,090,400	8,513,881
固定負債		
長期借入金	4,000,000	4,500,000
役員退職慰労引当金	17,682	17,682
退職給付に係る負債	361,550	362,394
長期預り保証金	1,099,486	1,114,894
繰延税金負債	279,210	577,134
その他	166,644	166,644
固定負債合計	5,924,574	6,738,749
負債合計	14,014,974	15,252,630
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,427,998	1,427,998
利益剰余金	48,496,664	49,324,932
自己株式	△2,216,142	△2,216,142
株主資本合計	47,808,520	48,636,789
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	411,262	969,654
繰延ヘッジ損益	△197	12,011
為替換算調整勘定	△825,185	△86,646
その他の包括利益累計額合計	△414,121	895,020
非支配株主持分	0	0
純資産合計	47,394,399	49,531,809
負債純資産合計	61,409,373	64,784,439

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	6,056,868	5,811,226
売上原価	1,691,134	1,568,779
売上総利益	4,365,734	4,242,447
販売費及び一般管理費	3,473,970	3,532,613
営業利益	891,763	709,834
営業外収益		
受取利息	38,834	99,518
受取配当金	61,000	130,884
受取手数料	36,914	30,369
為替差益	163,585	1,267,104
その他	18,509	39,088
営業外収益合計	318,844	1,566,966
営業外費用		
支払利息	6,790	7,971
その他	51	580
営業外費用合計	6,842	8,552
経常利益	1,203,765	2,268,248
特別利益		
有形固定資産売却益	521	81
投資有価証券売却益	—	18,618
ゴルフ会員権売却益	3,709	—
特別利益合計	4,230	18,700
特別損失		
解体費用引当金繰入額	—	312,893
減損損失	1,725	—
有形固定資産除却損	20	4,693
特別損失合計	1,745	317,586
税金等調整前四半期純利益	1,206,250	1,969,362
法人税等	448,466	676,168
四半期純利益	757,783	1,293,193
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	757,784	1,293,194

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
四半期純利益	757,783	1,293,193
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	72,504	558,391
繰延ヘッジ損益	△6,187	12,209
為替換算調整勘定	272,624	738,540
その他の包括利益合計	338,941	1,309,142
四半期包括利益	1,096,725	2,602,335
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,096,725	2,602,335
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,206,250	1,969,362
減価償却費	201,875	181,304
減損損失	1,725	—
有形固定資産除却損	20	4,693
有形固定資産売却損益(△は益)	△521	△81
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△18,618
ゴルフ会員権売却損益(△は益)	△3,709	—
解体費用引当金繰入額	—	312,893
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7,928	1,828
賞与引当金の増減額(△は減少)	22,458	10,512
修繕引当金の増減額(△は減少)	—	117,700
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△14,092	843
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△6,300	—
割賦利益繰延の増減額(△は減少)	△92,484	△109,537
受取利息及び受取配当金	△99,834	△230,403
支払利息	6,790	7,971
為替差損益(△は益)	△160,795	△1,263,374
売上債権の増減額(△は増加)	214,842	354,997
棚卸資産の増減額(△は増加)	△486,907	△626,712
仕入債務の増減額(△は減少)	472,418	246,381
未払消費税等の増減額(△は減少)	△172,916	△59,315
その他	114,752	△116,348
小計	1,211,500	784,095
利息及び配当金の受取額	95,364	194,922
利息の支払額	△6,790	△7,971
法人税等の支払額	△456,489	△645,470
収用補償金の受取額	178,229	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,021,813	325,574

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△6,455,441	7,149,232
有形固定資産の取得による支出	△84,032	△419,515
有形固定資産の売却による収入	501	81
投資有価証券の取得による支出	△598	△7,013,779
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	43,319
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	3,629	1,774
長期貸付金の回収による収入	300	300
その他	36,365	31,188
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,499,276	△207,398
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	500,000
配当金の支払額	△464,925	△464,925
その他	△71	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△464,997	35,074
現金及び現金同等物に係る換算差額	41,356	124,111
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,901,103	277,361
現金及び現金同等物の期首残高	24,939,291	18,039,208
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,038,187	18,316,569

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過措置に従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	寝具・リビング 用品事業	不動産賃貸事業			
売上高					
顧客との契約から生じる収益	5,356,644	4,698	5,361,342	—	5,361,342
その他の収益(注)3	192,698	502,827	695,526	—	695,526
外部顧客への売上高	5,549,342	507,526	6,056,868	—	6,056,868
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	115,751	115,751	△115,751	—
計	5,549,342	623,277	6,172,620	△115,751	6,056,868
セグメント利益	928,464	237,818	1,166,282	△274,519	891,763

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△115,751千円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額△274,519千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. その他の収益には、顧客との契約から生じる収益のうち、収益認識会計基準等の適用範囲外とされている、企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」の範囲に含まれる金融商品に係る取引、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれるリース取引等が含まれております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	寝具・リビング 用品事業	不動産賃貸事業			
売上高					
顧客との契約から生じる収益	5,142,109	4,398	5,146,508	—	5,146,508
その他の収益(注) 3	155,265	509,452	664,717	—	664,717
外部顧客への売上高	5,297,375	513,851	5,811,226	—	5,811,226
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	126,637	126,637	△126,637	—
計	5,297,375	640,488	5,937,863	△126,637	5,811,226
セグメント利益	796,970	190,112	987,082	△277,248	709,834

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△126,637千円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額△277,248千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. その他の収益には、顧客との契約から生じる収益のうち、収益認識会計基準等の適用範囲外とされている、企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」の範囲に含まれる金融商品に係る取引、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれるリース取引等が含まれております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (重要な後発事象)

## (投資有価証券の償還)

当社連結子会社が保有する投資有価証券の一部が償還されたことにより、2023年3月期第3四半期連結会計期間において投資有価証券償還益を特別利益として計上いたします。

## 1. 投資有価証券償還益の内容

(1) 償還株式 米ドル建て優先株式1銘柄

(2) 償還年月日 2022年10月3日

(3) 償還益 1,190,253千円

## 2. 発生の経緯

当社連結子会社である株式会社丸八アセットが保有する米ドル建て優先株式預託証券の発行者がコールオプションを行使し、元本金額で償還されたことに伴い発生したものであります。なお、投資有価証券償還益の主な要因は、為替相場の変動によるものであります。